

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 間質性肺疾患に対する緊急クライオバイオプシーの検討

[当院研究責任者] 部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 佐藤 智則

[研究の背景] 間質性肺疾患(ILD)の組織診断の新しい手法として経気管支鏡下クライオ肺生検(TBLC)が加わったが、緊急性の高いTBLCの安全性や有用性の報告は少ない。

[研究の目的] 間質性肺疾患における緊急TBLCの病理組織所見がその後の臨床経過に与える影響について検討する。

[研究の方法]

- 対象となる患者さん：間質性肺疾患の患者さんで、2019年に経気管支鏡下クライオ肺生検を受けた方
- 研究期間：承認日から2021年8月31日まで
- 利用する検体、カルテ情報：年齢、性別、喫煙歴、原疾患、血液検査結果、画像検査結果、気管支鏡検査結果、治療内容
- 検体や情報の管理：検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

- ・研究代表者（研究の全体の責任者）：呼吸器・アレルギー疾患内科 木村 智樹

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である木村智樹が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 佐藤 智則

電話 0561-82-5101